

パソコン廃棄サービス

顧客情報、売り上げ情報、メール履歴、社員の個人情報など機密情報満載のハードディスクは、徹底したセキュリティ対策の下、物理的に破砕処理。ハードディスク自体を解体、プラッター（磁気ディスク）を破砕して復旧を100%不可能にします。処理証明書の発行により、機密を抹消したことのエビデンスとトレースが確保できます。

専門機密処理工場



1)ユニットの分解作業



0)フロントパネル、キーボード等は
提携先にて再生処理“ReUse”



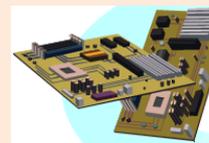
機密抹消処理工程



2)プラッター（磁気部分）・HDDの
取り出し



2') プリント基板の取り出し



3)プラッターは専用破砕機で破砕

3')プリント基板を提携先で破砕

4)金属原料へ“Reduce”



5)機密抹消処理後、処理証明書の発行



課題を解決する徹底したセキュリティ体制

●デリバリースタッフ

集荷にお伺いするのは社内資格である、“機密保持適格審査”に合格し、身分証を携えた弊社社員のみ。入社から6ヶ月に渡る研修期間と2年に1度の更新審査を実施。徹底した社員教育を行っています。

●車両

集荷に使用する車両は、現金輸送車と同等のセキュリティの「完全密封車」を採用。後部扉の施錠と連動している特殊警報機を装備し、「スタッフが扉を開けたまま、車を離れる」といったリスクを徹底排除。回収から処理まで、万全のセキュリティで機密を守りぬきます。

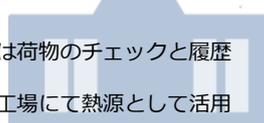
●運搬・回収ツール

ご依頼品は書類や情報記録メディアのいずれも鍵の掛かる回収ツールでお預かり。番号でトレース、エビデンスも取れます。専用ツールに収納しますので、運び入れ・運び出しの途中で外部の目にさらされることは一切ありません。



●機密処理工場「ファイナル センター」

構内外に張り巡らせた監視カメラや、24時間の警備体制、入退館には荷物のチェックと履歴を残し、内部・外部からの犯行を未然に防止。磁気媒体物は、10mm前後まで入念に破砕し、セメント工場にて熱源として活用するほか、焼却灰はセメント原料に生まれ変わります。



ファイナルセンター

